

西公民館だより

メール:nishi-kouminkan@city.fukuyama.hiroshima.jp

2019年9月10日
発行 西公民館
西町1丁目19-2
Tel 925-0442

西学区盆踊り大会は大盛況でした！

■8月4日（日）19時から西小学校の校庭で西学区盆踊り大会が盛大に開かれました。1,800人を超える多くの参加でした。盆踊り会場に入る通路には、この1年間で亡くなられた故人をしのび、ご供養をするために、灯籠に灯を点けました。その灯籠には西幼稚園・西保育所・もみじこども



【委員長開会の挨拶】

園の園児達が描いた可愛い絵が出迎えてくれました。◆盆踊りは沿隈地方に昔から伝承されている大和踊り・備中踊り・大黒踊り・村々づくしを佐波伝統芸能保存会の皆様に音頭をとって頂きました。西女性会や西幼稚園の園児の盆踊りが続きました。



【50個の灯籠の道しるべ】



【佐波伝統芸能保存会と鼓情太鼓の調べ】



【西幼稚園の親子の踊り】



- ◆踊りの参加者にはお楽しみに景品が配られました。何よりの楽しみは西小PTAやすずかけ会などの夜店が夜遅くまで開かれたことでした。西学区の皆様がふれ合う夏の夜の風物詩でした。
- ◆今回は「灯りフェスタ」（西小全児童の灯籠飾り）と「コンサート」（琴とフルートの合奏）がありました。



「みんなだいじななかま」と飾った灯籠と西学区ロゴのイルミネーション



「Full Moon」の琴・楠紀江さんとフルート・宮地美穂さんの合奏
荒城の月、おぼろ月夜、故郷、春の海など合間には楽しいお話を聞きました

西公民館社会教育事業・チャレンジウィークふくやま コロコロパーク 夏休み子ども講座

チャレンジウィークふくやま

西公民館へ城北中2年生が職場体験 (8月20日(火)~24日(金))

■ 毎年夏休みには中学2年生の公的施設の職場体験があって、西公民館も城北中の男子生徒5名を受け入れて4日間、公民館についての学習とコロコロパークのお手伝いをしてもらいました◆最初5名の履歴書を読み職場体験に臨む志の高さに驚きました。「社会とは何かを考え、力が発揮できるか試したい」「未来の自分に役立てたい」「社会的責任を学びたい」「働くとは何か」「礼儀正しく大きな声で自分の長所を生かしたい」◆朝8時半集合、1日の予定説明の後は館内清掃、9時コロコロパークの準備・行事のアシスト、昼休憩後は館外の清掃の後一日の反省とミニ座談会。「人生の目的は何か」「幸せとは何か」「人生百年時代どう生きるか」を話し合いました◆公民館は地域の学びの館であることと、人々のために尽くす活動の場であることを清掃・行事の支援・話し合いを通して体験して頂きました◆生徒5名が立派な人に成長して、世の為に活躍する姿を願うばかりです。

1日目 8月20日(火) 75名参加

『そうめん流し』

■ おひな様のご縁でそうめん製造に造詣深い方がご夫婦でそうめん流しをボランティアでして下さいました。会場の設営から食材の準備や運営後片付けまでして下さいました。

幼稚園と小学生75名が喜んで頂きました。中学生はそうめんを流す事と汁とはしを渡す係をしました。



2日目 8月21日(水) 20名参加

『理科実験』

■福山工業高校の生徒5名と先生3名で子どもたちに、はすむシャボン玉・チョークアート・スライムの実験を指導してもらいました。みな科学的な反応で物が変わる「不思議さ」を体験し理科実験は大成功でした。中学生は班に別れて高校生の指導の元で子ども達をアシストしていました。



3日目 8月22日(木) 10名参加

『中学生の読み聞かせ』

『絵本のとりかえっこ』

■読まなくなった本と読みたい本を交換する絵本のとりかえっこをしました。本好きな子は興味津々。中学生の読み聞かせがありました。5名のお兄ちゃんが思い出の絵本を持参して一生懸命読んでくれました。拍手喝采でした。

絵本の読み聞かせは『ふしぎなバス』(大津君)

『へんしんトンネル』(金森君)

『へんしんオバケ』

(岡田君)

『パパお月さんと』

(大村君)

『夜小僧』

(久保君)

でした。



4日目 8月23日(金) 30名参加

『世界で一つのマイバック作り』



夏休みの手作りとして布の手提げバッグの表裏に思い思いの絵を色マジックで描きました。アイスクリーム、クジラ、ブドウ、アニメキャラクター、ガイコツ、バラ、星などを素早く描く子どもや時間をかけてゆっくりのんびり描く子どもと様々でした。自己の内面を絵で表現することの素晴らしさと、難しさを体験できました。



【社会教育事業】

コロコロパーク ~サツマイモのつる返をしました~

7月27日(土)9時に、西公民館ふれあい広場の農園でコロコロパークの参加者30組の親子が集まり、佐波町の西迫佳弘さんから「さつまいものつる上げ」の作業の指導を受けました。

今の時期は茎(つる)が長く伸びてそこから根が出てイモが来ると、元の根のイモが大きくなるのでつるを上げる(返す)作業が大事と説明がありました。

さっそく自分の畑の草を抜いてつるが折れないように丁寧に上げました。終わるとたっぷり水をやり、西迫さんから「時々来て水やりと草抜きをしましょう」とお話があり、みんな一緒に写真を撮って、まちパスを貰って帰りました。次は10月中旬の収穫になります。楽しみはつきません。

**公民館利用者のサークル紹介****エンジョイ月例会 踊ると楽しいネ!**

■8月25日(日)午前10時、西公民館実習室で体に障がいを持つお友だち6名とその保護者とダンスの指導者で14名が集まり、ダンスを楽しみました。「きよしのズンドコ節」などの歌に合わせて鍾尾指導者とレクリエーションダンスを楽しみました。◆お友だちの歳は33歳から54歳でした。平日は事業所へ仕事に行かれています。日曜日に家族と外出して



西公民館で、ダンスや食事をして、カラオケに行くのが一番の楽しみだそうです。それは皆と交流することで気分が発散できるからです。

◆お友だちに「どんな所へ行くのが好きか」「家族でケンカするか」「何故ダンスをするのか」等の話を聞きました。聞き終わってから全員の写真撮影を撮らせて下さいと頼むと、全員がVサインでした。

◆お友だちの笑顔がキラキラと輝いていました。みんな大事な仲間でした。



【編集後記】公民館を利用されているエンジョイサークルから西公民館だよりへ記事にしてほしいと依頼を受け早速出かけました。お友だちはみんな身体障がい者で二つ以上の障がいを併せ持っていると言われました。◆54歳のお友だちのお母様からお話を伺うことが出来ました。西公民館を選ばれた理由は平屋で土足のまま上がられてバリアフリーになっているのが良いこと、娘が生まれた頃は障がい児は普通の小学校には行けなかったこと、生まれた時から今までずっと途切れることなく見続けていること、この娘より私が先に死ねないこと等々、半世紀を超える長きにわたって「障がいを持って生まれたわが娘」を宝の様に見捨てることが出来なかった母親の愛情の深さと有難さを聞かせて頂き、涙なくしては聞けない尊いお話でした。◆公民館は苦しみ多い人生をどう生きるかを学ぶ、地域社会に開かれた「学校」だと強く感じました。(西公民館長)

防災拠点施設改築委員会設立総会開かれ、募金が始まります

■86年間も大切に使った西分団第一班器具庫も、老朽が激しく耐震構造がない理由からこの度建て替えられることになりました。消防自動車を保管する所と合わせて、地域の防災拠点の機能をあわせ持つ新しい施設への改築の総会が7月17日(水)に開かれました。西学区と明王台学区で西分団を後援している30名の役員が集い、立派な消防器具庫を持つ防災拠点施設を皆の力を集め、再び80年先まで使える立派なものを残そうと誓い合いました。



【設立総会の会議風景】

◆西分団器具庫は明王台と西町に二か所あり、25名の分団員の消火・防災活動の拠点です。2つの学区の人の命と財産を守る為に日夜「不惜身命」の心意気で、週末は訓練や車両及び消防資機材の点検を行い、火災や災害に備えています。若い分団員の為にも立派な施設を後世まで残したいものです。

昨年7月6日(金)
23時40分佐波水没
地域での警戒活動



福山市消防団第3方面隊夜警巡視激励会 2018年12月25日

令和元年9月吉日

西学区の住民の皆様へ

福山市西分団防災拠点施設改築委員会
委員長 徳山 威雄

趣 意 書

(福山市消防団西分団防災拠点改築に伴う寄付のお願い)

拝啓 初秋の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

福山市消防団西分団(団員25名)は市民の命・財産を守る為に、日夜奮闘しております。

さて、西分団管轄内の地域防災拠点施設(消防器具庫・所在地:西小学校南門前)は築86年を経過しており、老朽激しく耐震性にも問題があると福山市消防局より指摘があり、この度建て替えることとなりました。その為の建て替えに要する費用は約18,500千円かかる見込みであり、このうち福山市からは6,460千円が補助される予定で、残りの約12,000千円は寄付金によって調達する必要があります。

つきましては、地元の西学区及び明王台学区の住民や企業の皆様の温かいご援助を受け賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

なお、以下のご寄付をお願いすることとなりました。

- 芦田川東部の町内会 一口 1,000円 出来るだけ 1世帯当り3口3,000円以上
- 芦田川西部の町内会 一口 1,000円 出来るだけ 1世帯当り2口2,000円以上

をお願いします。町内会でまとめた上、公民館へお届け下さい。

(個人ごとの寄付額を公表することはありません)

発起人 福山市西分団防災拠点施設改築委員会(西学区関係の役員)
委員長 徳山 威雄 (西学区まちづくり推進委員会委員長)
副委員長 近藤 俊一 (西学区町内会連合会会長)
副委員長 佐藤登志海 (西分団分団長)
事務局/桐島知宏 理事/井上盛喜(共に西分団副分団長)
事務局長 山本 耕嗣 (西公民館長)
西学区の全町内(自治)会会長 17名



【改築する消防器具庫】